

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 8月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700426		
法人名	有限会社 介護ケア道央		
事業所名	グループホームぬくもり		
所在地	岩見沢市栗沢町最上293番地 1 (電話) 0126-34-2322		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年7月11日	評価確定日	平成19年8月2日

【情報提供票より】(平成19年6月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成) 17年 7月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	19 人 常勤 15人, 非常勤 4人, 常勤換算 5.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	15,000~19,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(6月15日現在)

利用者人数	15 名	男性 3 名	女性 12 名
要介護1	6	要介護2	9
要介護3	0	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 83.2 歳	最低 74 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岩見沢市立栗沢病院・町立長沼病院・栗山赤十字病院・三嶋歯科医院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、深緑の木々に囲まれ近隣には最上川が流れるなど自然豊かな環境に位置し、平成17年に開設された。職員は理念である「ぬくもりのある暮らし」を常に心掛け、利用者一人ひとりのペースを大切にされた支援を実践している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題を踏まえ、ミーティングで話し合い改善に取り組んでいる。洗剤・薬品の管理について、夜間は保管場所を施設し安全を図っている。また、地域への啓発については、運営推進委員の協力と事業所の積極的な働きかけにより、地域との密なる関係が徐々に構築されつつある。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義・目的を全職員で確認し行っている。職員一人ひとりが項目ごとに記載したものを管理者が検討し、まとめている。全職員の意識統一を図り、ケアサービスの向上を目指した取り組みを行っている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議で評価の結果や事業所の取り組み状況を報告し、活発な意見交換を行っている。また、会議の中で出た意見をミーティング時に全職員で検討し、日々のケアサービスに活かせるよう努めている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>内部・外部の苦情相談窓口を重要事項説明書に明示しており、入居時に詳しく説明している。また、意見・苦情等は即検討会議を行い、具体的に対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しており、祭り・盆踊り・文化祭など地域の行事に参加している。また、各種ボランティアの受け入れも積極的に行っており、地域密着型サービスを目指し、日々取り組んでいる。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ありのままに、ゆとりとぬくもりのある暮らし」という独自の理念をつくり、玄関に明示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念が記載されたカードを常に持っており、確認しながら支援している。また、管理者はミーティング時に理念を具体的に説明し、サービスの向上に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、祭り・盆踊り・文化祭など地域の行事に参加している。また、各種ボランティアの受け入れを積極的に行っており、地域との密なる交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者がミーティング時に評価の意義・目的を全職員に説明し、理解を深めている。また、評価を活かしてケアサービスへの意識の統一を図り、サービスの向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にて評価や事業所の取り組み状況を報告している。また、会議の中で出た意見をミーティング時に全職員で検討し、日々のケアサービスに活かせるよう取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の行政担当者と密に連絡を取っており、協力が得られるよう働きかけている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時や事業所便り送付時に、利用者の日々の暮らしぶりや健康状態等を報告している。また、金銭出納について領収書を添付した出納帳を家族に確認してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示しており、入居時に詳しく説明している。また、事業所内に苦情箱も設置されており、家族が相談しやすいよう配慮している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職を最小限に抑えるよう努めており、開設以来、職員の異動はほとんどない。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員が人材育成の重要性を認識しており、積極的に研修に参加している。研修後は報告会を開き、職員の共有化を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当事業所は空知ブロックグループホーム協議会に加入しており、同業者と交流する機会を設けている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に利用者本人の健康状態や生活状況を確認している。また、事業所の行事に参加してもらったり宿泊体験をもらい、馴染みの関係を築いてからの入居となるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者一人ひとりの得意分野を見出して職員が教えてもらう場面作りの工夫をするなど、利用者が介護される一方の立場にならないよう配慮している。また、職員は利用者の尊厳を大切にしており、共に支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は日々の観察や情報記録・関係者の気付き等により、利用者の思い・希望・意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者一人ひとりの生活歴を基に、利用者・家族・関係者の意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月に1度の見直しを行っている。利用者の状態に変化が生じた場合はそのつど話し合い、見直しを行っている。また、現状に即した介護計画の見直しを行えるよう日頃から準備に取り組んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	地域に関わられた事業所として、今までに管理者の間でショートステイの利用を検討したことがある。	○	今後の取り組みとして、事業所としての多機能性を活かした支援の検討を期待する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者・家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。また、協力医療機関での受診や検査等も行っており、受診結果について電話や郵送にて家族に報告している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化した場合や終末期のあり方について、利用者・家族の意向や希望を踏まえ、看護師を交えて全職員で繰り返し話し合い、共有化を図っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は管理者から個人情報保護について指導を受けており、利用者のプライバシーを損ねることのない対応を心掛けている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者とのコミュニケーションを大切に、一人ひとりがどのように過ごしたいかを把握し体調を考慮しながら、その人に合った支援を実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力量や好みに応じて、調理の下準備・盛り付け・配膳などを職員と一緒にやっている。職員は利用者と同じ食卓に着き、和やかな雰囲気の中で食事を摂っている。また、外食や出前での食事を楽しむ機会を設けている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた週4日の入浴支援を行っている。職員は、利用者の羞恥心や体調にも配慮しながらの支援を実践している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	農園での野菜作りや食事の下準備・後片付けなど、一人ひとりの生活歴や得意な事を活かし、利用者の希望に応じた支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所の農園までの散歩・花見・ドライブなど外出する機会を設けており、利用者が戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけておらず、外出察知策としてセンサーを設置している。また、職員は利用者が外出しそうな様子の際にはさりげなく声かけをし、対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、毎年避難訓練を実施している。また、事業所内に避難経路を明示したり、緊急時連絡網を作成するなど災害対策の工夫をしている。	○	今後、災害時に地域住民の協力体制の整備や災害に備えた備品等の準備を期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立表やカロリー計算について、栄養士に確認してもらい指導を受けている。また、利用者の体調に合わせ、刻み食やお粥にするなど調理方法の工夫をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間にうちわや朝顔を置くなど季節感を採り入れられ、また、照明の光は柔らかく居心地の良い空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたたんす・テレビ・仏壇などが持ち込まれており、利用者が安心して暮らせるような工夫がなされている。		

 は、重点項目。